

# 令和 1(2019)年さけます来遊状況(第 6 報:1/31 現在)

## 3 サケ年齢組成と体サイズ

国立研究開発法人水産研究・教育機構  
北海道区水産研究所 さけます生産技術部

- 1 月末時点での年齢別来遊数を推定すると、4 年魚 (2015 年級) は全国・北海道及び本州において、1994 年以降で 1~2 番目に少なく、5 年魚 (2014 年級) は 1~5 番目に少ない
- 3 年魚 (2016 年級) は、全国・北海道及び本州で前年を上回り、日本海側では平年\*1 よりも多い
- 北海道のサケの平均重量は 3.31kg で前年を上回り、主要河川に回帰したサケ 4 年魚の平均尾叉長も大型化し、ともに 2017 年に近い水準まで回復

\*1: 平年とは、平成 6 (1994) ~平成 30 (2018) 年の平均値

### ・サケの年齢組成

(全国)

全国の主要な河川に回帰したサケの年齢査定をもとに、1 月末時点における年齢別来遊数を推定したところ、4 年魚 (2015 年級) が全体の 46%を占めて最も多く、5 年魚 (2014 年級) 及び 3 年魚 (2016 年級) がそれぞれ 35%、17%となっています。5 年魚は、前年同期の 182%と前年を大きく上回っていますが、4 年魚は前年同期の 39%と大きく減少しています。平年同期との比較では、それぞれ 35%と 29%となっており、5 年魚は 1994 年以降で 3 番目に少なく、4 年魚は最も少ない状況です。また、3 年魚は前年同期の 181%、平年同期の 96%となっています (図 1)。

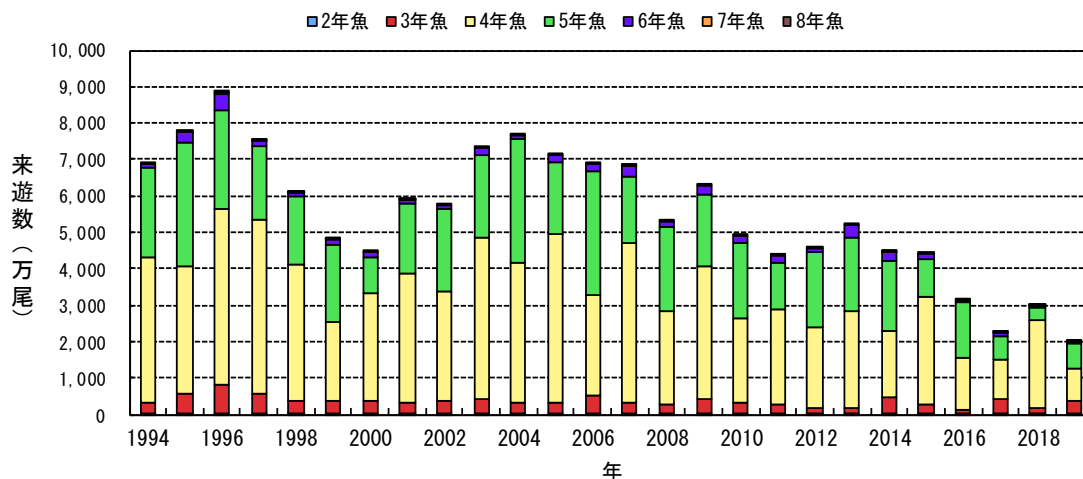


図 1. 1 月末時点のサケ年齢別来遊数 (全国).

(北海道)

4年魚(2015年級)が全体の49%を占めて最も多く、5年魚(2014年級)及び3年魚(2016年級)がそれぞれ33%、16%を占めました。5年魚は、前年同期の215%と前年を大きく上回りましたが、4年魚は前年同期の47%と大きく減少しました。平年同期との比較では、それぞれ37%と36%となり、5年魚は1994年以降で3番目に少なく、4年魚は2番目に少なくなりました。また、3年魚は前年同期の167%、平年同期の127%となり、前年および平年を上回りました(図2)。

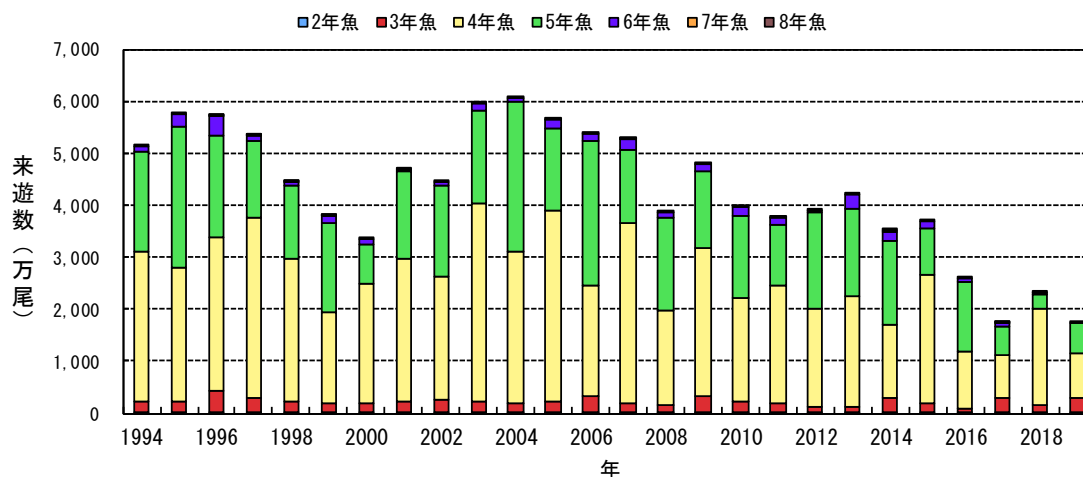


図2. 1月末時点のサケ年齢別来遊数(北海道).

年級群(生まれ年)ごとの来遊数をみると、今年の5年魚である2014年級は5年魚までの来遊数(2~5年魚の来遊数)で比べた場合、1992年級以降の平均の66%の水準で、少ない方から4番目となりました。また4年魚である2015年級は4年魚までの来遊数(2~4年魚の来遊数)で比べた場合、1992年級以降の平均の40%の水準で、少ない方から2番目となりました(図3)。

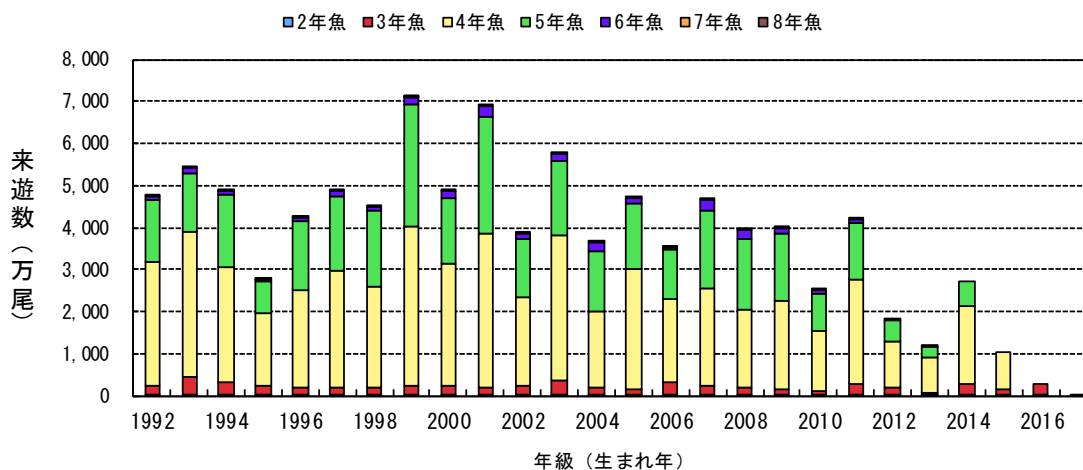


図3. 1月末時点のサケ年級群(生まれ年)別来遊数(北海道).

地域別にみると、太平洋側（根室～えりも以西海区）では、5年魚の来遊数は前年同期の249%、平年同期の26%となりました。4年魚は前年同期の46%、平年同期の27%となり、4年魚は1994年以降で2番目に少なく、5年魚は3番目に少なくなりました。また、3年魚は前年同期の123%、平年同期の84%となりました（図4）。

日本海側（オホーツク海区及び日本海区）では、5年魚の来遊数は前年同期の197%、平年同期の49%となりました。4年魚は前年同期の48%、平年同期の47%となり、4年魚は1994年以降で最も少なく、5年魚は3番目に少なくなりました。また、3年魚は前年同期の207%、平年同期の174%となりました（図5）。

両地域とも5年魚は前年を上回っているものの、4年魚は前年を大きく下回りました。

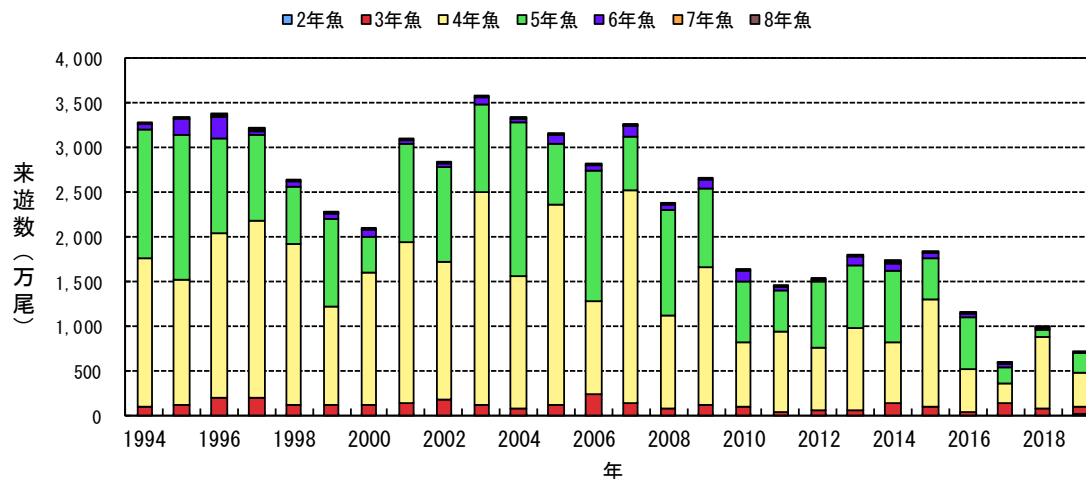


図4. 1月末時点のサケ年齢別来遊数（北海道太平洋）.

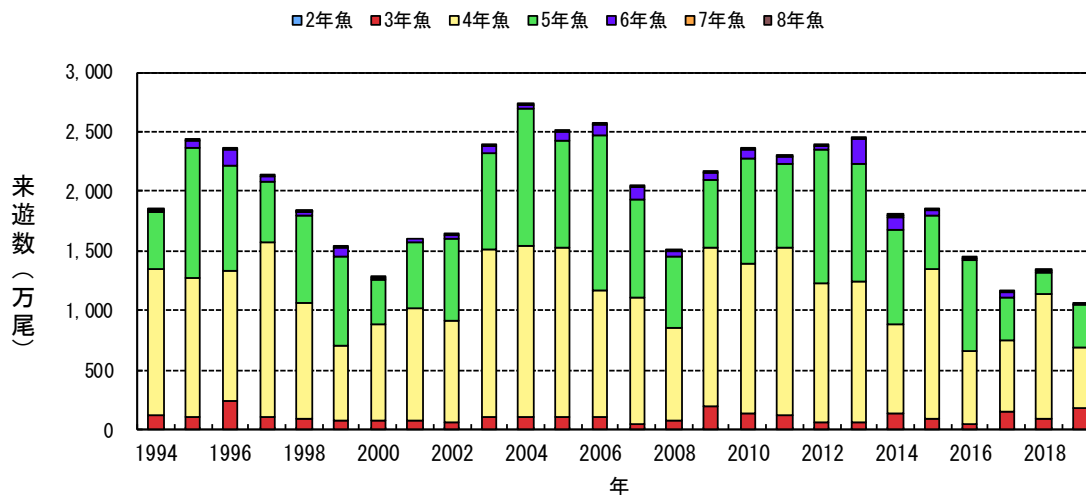


図5. 1月末時点のサケ年齢別来遊数（北海道日本海）.

(本州)

本州太平洋側では、5年魚(2014年級)が全体の56%を占めて最も多く、次に3年魚(2016年級)が22%を占め、4年魚(2015年級)が20%と続いています。4年魚は前年同期の7%、平年同期の5%、5年魚は前年同期の99%、平年同期の25%となっており、4、5年魚とも1994年以降で最も少なくなりました。また、3年魚は前年同期の223%、平年同期の32%となっています(図6)。

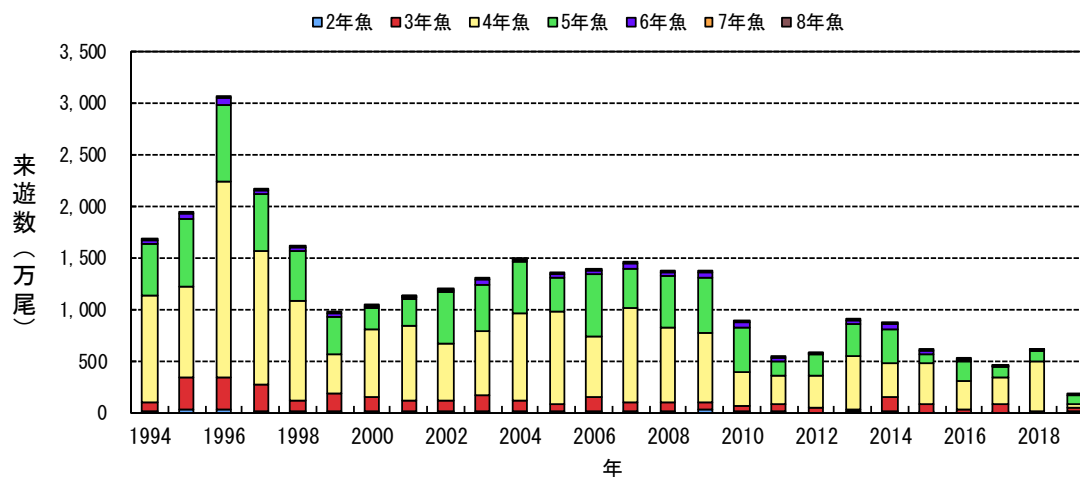


図6. 1月末時点のサケ年齢別来遊数(本州太平洋)。

本州日本海側では、3年魚(2016年級)が全体の47%と最も多く、次に4年魚(2015年級)が24%を占め、5年魚(2014年級)が18%と続いています。3年魚は前年同期の606%、平年同期の157%と1994年以降で4番目に多く、4年魚は前年同期の24%、平年同期の24%と1994年以降で最も少なくなっています。また、5年魚は前年同期の74%、平年同期の53%と1994年以降で5番目に少なくなっています。(図7)。

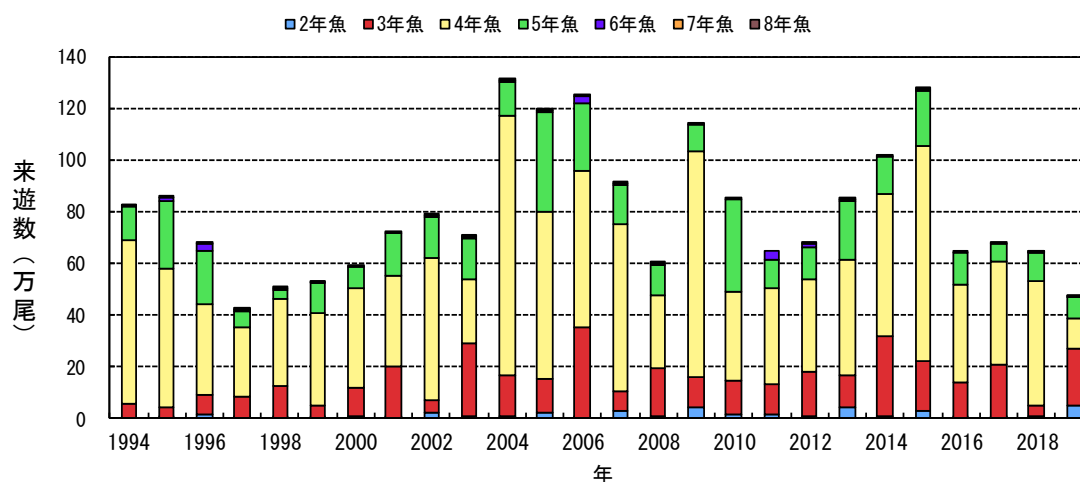


図7. 1月末時点のサケ年齢別来遊数(本州日本海)。

・サケの体サイズ

北海道における1月末時点のサケ1尾当たりの平均重量（サケ漁獲数と漁獲重量から算出）は3.31kgであり、1989年以降で2番目に小さかった前年同期の109%に相当します（図8）。

北海道の主要河川に回帰したサケ4年魚の平均尾叉長は、前年に比べ1~4cm大きくなっており（図9）、平均重量・尾叉長ともに2017年に近い水準まで回復しました。

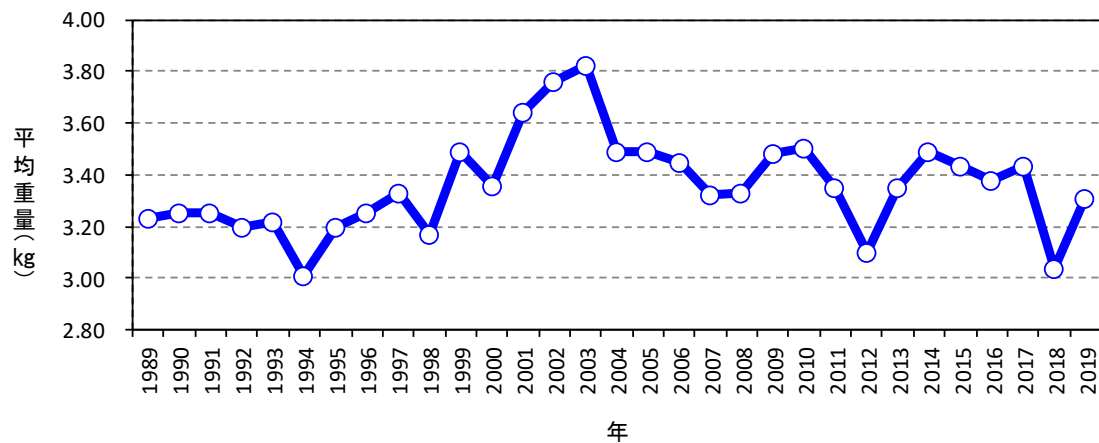


図8. 1月末時点のサケ平均重量（北海道）.

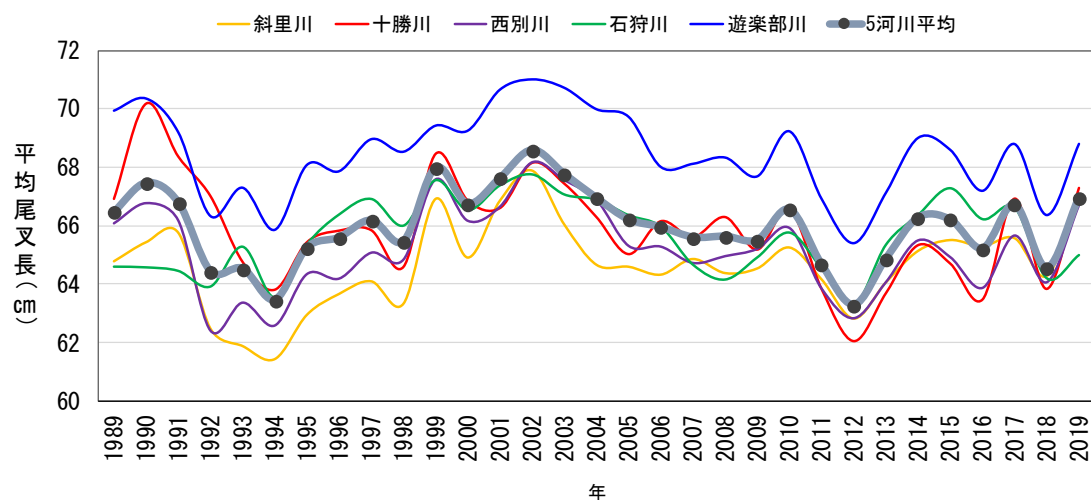


図9. 北海道の主要河川におけるサケ4年魚（雌雄込み）の平均尾叉長.